

令和3年度

厚生労働科学研究費補助金公募要項

(二次)

一部抜粋

令和3年3月3日

厚生労働省大臣官房厚生科学課

## E A - 3 公募研究課題

### (1) 研究課題名

がん全ゲノム解析等の推進に向けた患者還元、解析・データセンター、ELSI 等に係る技術評価、体制構築についての研究

### (2) 目標

「全ゲノム解析等実行計画（第1版）」を令和元年12月にとりまとめ、同実行計画に基づき令和2年9月から令和3年2月にかけて、「がん全ゲノム解析等連絡調整会議」、「がんに関する全ゲノム解析等の推進に関する部会」を開催し、がん全ゲノム解析等により、がん医療への活用、日本人のがん全ゲノムデータベースの構築、がんの本態解明、創薬等の産業利用を進めるために必要な専門的事項の検討を行った。本研究の目標は、その基本方針を踏まえ、令和5年度末までに、がん全ゲノム解析等の推進に向けた患者還元、解析・データセンター、ELSI 等についての専門的、技術的な検討を実施することである。また、実際の解析の実施状況を踏まえつつ、必要な課題について検討し、報告を取りまとめ厚生労働省厚生科学審議会の科学技術部会のもとに新たに設置される「全ゲノム解析等の推進に関する専門委員会（仮称）」における検討に供する。

### (3) 求められる成果

- ・ がん患者の病態に沿った適切な治療ができるよう全ゲノム解析等を実施し、医療現場で使用できるようにするとともに、様々な研究や創薬等に広く活用可能な質の高い全ゲノムデータベースを構築し、産官学一体となって次世代のがん医療を提供するための患者還元、解析・データセンター、ELSI 等についての専門的、技術的な検討

### (4) 研究費の規模等※

研究費の規模： 1 課題当たり年間 15,000 千円※（間接経費を含む）

研究実施予定期間： 最長3年間 令和3年度～令和5年度

新規採択課題予定数： 1 課題程度※

※ 研究費の規模等はおおよその目安となります。研究費の規模及び新規採択課題予定数等については、今後の予算成立の状況等により変動することがあります。

### (5) 採択条件（【 】内は条件を満たしていることを示す書類等）

- ・ がん関連の会議体の議論を踏まえた研究計画書を作成するとともに、関係学会との協力体制を整えていること。
- ・ 目標を明確にするため、研究計画書に、当該研究により期待される科学的成果及び当該成果によりもたらされる学術的・社会的・経済的メリットを具体的に記載すること。また、年度ごとの計画及び達成目標を記載するとともに、実際の医療等への応用に至る工程

を含めた研究全体の具体的なロードマップを示した資料を必ず添付すること【様式自由】。

- ・ がん全ゲノム解析等に関連する様々な分野の専門家（ゲノム、ゲノム統計、ゲノム病理学、情報科学、情報セキュリティ、遺伝学、臨床腫瘍学、倫理、法律、経済等）を研究分担者もしくは研究協力者とする研究班体制が構築されていることが望ましい。
- ・ 患者団体、データ利活用団体の意見が反映される体制を整えていること。
- ・ 当該研究課題は、AMED 研究で実施される研究事業のうち「全ゲノム解析等実行計画」に係る研究との関連性が深いことから、これらの研究課題の方向性及び研究成果に関して連携が可能である体制が整った研究課題を優先して採択する。（AMED 研究と関係のある研究課題がある場合は、その関係性について積極的に研究計画書に記載すること。）
- ・ 研究分担者又は研究協力者として、若手研究者・女性研究者を研究班に参画させるよう努めること。